

授業計画（シラバス）

<p>■科 目</p> <p style="text-align: center;"><b>日本語表現法Ⅱ</b></p>	<p>■講師名</p> <p style="text-align: center;">各担当講師 / 専任教員</p>
<p>I 部 2 学年      通年      8 コマ（1 コマ 90 分授業）      総時間 15 時間      講義 1 単位</p>	
<p>■学修概要</p> <p>歯科衛生士の基礎的技法を習得し、臨床および公衆衛生、または年齢対象別等さまざまな状況に十分対応し得る表現力を培い実践できるようにする。</p>	
<p>■授業目的、到達目標</p> <p>歯科衛生士に求められる基本的な文章力や表現力をわかりやすく解説し、臨地・臨床実習で活用できる技法の習得を目指す。</p>	
<p>■授業方法</p> <p>講義、演習（グループワーク、グループディスカッション、発表）</p>	
<p>■教科書（書籍名・出版社）</p> <p>講師による資料等で対応</p>	
<p>■成績評価・講義上の注意</p> <p>定期試験、出欠席、授業態度、課題の他、以下の項目による総合的な評価を行う。</p> <p>グループワーク・グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度</p> <p>発表：準医療従事者としての身だしなみや態度、発表の技術、発声、参加することへの積極性</p> <p>課題：提出期限、内容、自学自習のクオリティ</p>	
<p>■実務経験</p> <p>歯科衛生士として 10 年以上、臨床及び教育現場で歯科衛生士や学生の教育に携わる。</p> <p>臨地・臨床実習施設での従事の際は、各種書類作成にも長きに亘り携わる。</p>	
<p>■授業計画（講義の流れ）</p>	
1	臨地・臨床実習配属とアンケート記入、自己紹介文作成
2	臨地・臨床実習生として心構え 挨拶・言葉遣い・電話応対（患者含む）・お礼状の書き方
3	臨地・臨床実習ノート 1：基礎的な記入方法
4	臨地・臨床実習ノート 2：各診療科課題の効果的な活用と記入方法
5	臨地・臨床実習ノート 3：症例記入（症例診断名・治療目的・治療手順・使用器具・問題点・患者指導）
6	症例検討：概要説明とグループ決め 保存修復症例、補綴症例、小児歯科症例、矯正症例、口腔外科症例、歯周・歯周外科療 計 6 症例に関する患者指導
7	症例発表：症例診断名・治療目的・治療手順・使用器具・問題点・患者指導（患者に伝わりやすい 言葉選びのポイントと内容）
8	定期試験（発表症例に関する国家試験過去問題の理解力を確認）